

9 消 防 費

1, 969, 365, 991円

項 目	ペ ー ジ
消 防 費	
防災対策費……………	405
防災支援費……………	418

防 災

消 防 費

1, 9 6 9, 3 6 5, 9 9 1 円

○ 防 災 対 策 費 (1, 9 6 8, 2 6 8, 2 7 1 円)

[防災課]

1 常備消防経費

事務委託費 1,361,324千円

東京都に対して常備消防を委託した。

消防ポンプ車等および救急車の出動状況

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
消防ポンプ車等 (単位：延台数)	231	224	203	272	326	301	299	263	306	293	274	239	3,231
救 急 車 (単位：回)	526	517	574	768	680	599	598	604	731	712	590	606	7,505

2 消防団運営経費

(1) 消防団火災等出動状況

(単位：件、回、人)

火 災 出 動					そ の 他 出 動		
火 災 件 数	出 動 回 数	延 出 員 数	1 回 平 均 団 員 数	団 員 1 人 平 均 回 数	出 動 回 数	延 出 員 数	
58	30	815	27	1.7	93	3,404	

(2) 消防団員等損害補償

(単位：件)

発生日	所属	傷病名	原 因	療 養 補 償 費	休 業 補 償 費	休 業 援 護 金	結 果
9.25	第8分団	椎間板ヘルニア	訓練	あり	なし	なし	完治
2.9	第2分団	両腕靱帯損傷	火災対応	あり	なし	なし	完治

(3) 消防団員退職状況

(単位：人)

勤務年数	5年未満	5～9年	10～14年	15～19年	20～24年	25年以上	合 計
退職人員	4	2	2	—	—	—	8

(4) 消防団出初式

1月12日に、永山公園総合運動場において、消防団恒例の出初式を挙行し、成績優秀な分団、部および団員について表彰した。

また、青梅市青少年吹奏楽団の協力により、記念演奏を行った。

ア 団長表彰

表 彰 区 分	被 表 彰 者
永 年 勤 続 功 労 章	第 4 分 団 副分団長 市川 義裕 以下 33人
表 彰 状 お よ び 表 彰 き 章	第5分団第2部 部 長 田中 和幸 以下 6人
精 績 章	第8分団第1部 部 長 田中 和明 以下 3人
精 勤 章	第3分団第3部 班 長 前田 智幸 以下 9人

イ 分団表彰

表 彰 区 分	被 表 彰 者
表 彰 状	第52回東京都消防操法大会出場分団 第8分団

(5) 消防団上部団体等からの表彰

表 彰 区 分	被 表 彰 者
東 京 都 消 防 褒 賞	第 5 分 団 副 分 団 長 水野 成悟
東 京 消 防 庁 消 防 総 監 表 彰	青梅市消防団 団本部女性部 団 員 小林 洋子 川鍋 由美
東 京 消 防 庁 防 災 部 長 表 彰	第5分団第4部
東京消防庁第九消防方面本部長表彰	第8分団第3部 班 長 原島 孝宗 副 部 長 梅田 慎一 団 員 安達 結人 班 長 林田 和久 団 員 五十嵐真聖
日本消防協会定例表彰	精 績 章 第 4 分 団 副 分 団 長 榎戸 慎吾
	勤 続 章 第5分団第2部 団 員 船木 桂司 第7分団第3部 団 員 木崎 正博
東京都三多摩消防団 連絡協議会表彰	優 良 表 彰 第 4 分 団 功 績 表 彰 第 1 分 団 、 第 2 分 団

(6) 消防団運営費交付金支給状況

支給総額

17,258千円

(単位：人、千円)

区	分	本部	第1部	第2部	第3部	第4部	第5部	第6部	合計
団本部	算定人員	481	—	—	—	—	—	—	—
	金額	879	—	—	—	—	—	—	879
第1分団	算定人員	67	16	15	14	5	15	—	—
	金額	562	406	390	373	224	390	—	2,345
第2分団	算定人員	90	11	15	18	14	18	12	—
	金額	589	284	350	386	347	426	287	2,669
第3分団	算定人員	36	8	9	10	7	—	—	—
	金額	465	234	291	307	258	—	—	1,555
第4分団	算定人員	51	9	7	6	11	6	10	—
	金額	504	238	258	241	323	228	307	2,099
第5分団	算定人員	76	15	18	15	26	—	—	—
	金額	588	389	439	390	591	—	—	2,397
第6分団	算定人員	55	16	11	13	13	—	—	—
	金額	509	353	330	357	317	—	—	1,866
第7分団	算定人員	38	8	11	9	8	—	—	—
	金額	478	274	343	291	274	—	—	1,660
第8分団	算定人員	52	10	14	14	12	—	—	—
	金額	500	281	333	360	314	—	—	1,788

(7) 市内火災発生状況

ア 地区別火災発生状況

(単位：件、㎡、人)

分 団	建 物		林 野		車両+その他		合 計		死者	傷者
	件数	焼失面積	件数	焼失面積	件数	焼失面積	件数	焼失面積		
1	2	0	0	0	3	0	5	0	0	0
2	3	83	1	0	6	0	10	83	1	0
3	6	82	0	0	16	0	22	82	0	2
4	1	10	0	0	3	0	4	10	0	0
5	0	0	1	0	1	0	2	0	0	0
6	1	0	0	0	2	0	3	0	0	1
7	1	0	0	0	1	0	2	0	0	1
8	5	33	0	0	5	0	10	33	1	1
合計	19	208	2	0	37	0	58	208	2	5

イ 月別火災発生状況

(単位：件)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
7	3	4	6	7	5	4	4	4	3	7	4	58

ウ 原因別火災発生状況

(単位：件)

放 火	た ば こ	電 気 配 線	落 雷	石油ストーブ	排 気 管	そ の 他	合 計
23	6	4	5	3	2	15	58

※ 火災原因その他内訳

電子レンジ、美容器具、焼却火、ライター、煙突、トランス、発煙筒、回転かまど、大型ガスコンロ、ボタンガストーチ、サーキュレーター、炭火、蓄電池、オーブン、ガステーブル 計15件

(8) 消防団の活動

ア 西多摩地区消防団幹部研修会

9月23日に、福生市民会館において、「令和6年度西多摩地区消防団連絡協議会幹部研修会」が開催され、青梅市消防団から団長以下58人が参加した。

イ 第52回東京都消防操法大会

10月26日に、第52回東京都消防操法大会が開催され、小型ポンプ操法の部に第8分団が出場し、第3位に入賞した。

ウ 車両運行訓練

7月28日に、日本航空学園青梅キャンパスにおいて、車両運行訓練を実施し、団長以下155人が参加し、青梅消防署の指導のもと適切な車両運行についての訓練を行った。

エ 山林火災訓練

11月10日に、日本航空学園青梅キャンパスにおいて、秋の火災予防運動の期間に合わせ山林火災訓練を実施し、団長以下245人が参加した。

オ 消防団主要行事

月	日	行 事 内 容	実 施 場 所 等
4月	7日	任命式	霞共益会館
	9日	西多摩地区消防団連絡協議会総会	奥多摩町役場
	18日	東京都三多摩消防団連絡協議会総会	フォレスト・イン昭和館
	21日	規律訓練および公務災害防止研修	市役所
	23日	東京都消防協会総会	スクワール麴町
5月	11日	専科教育（警防科）	東京都消防訓練所
	26日	機関運用訓練	市民球技場 河川敷
6月	9～10日	西多摩地区消防団連絡協議会団長研修会	大田区内
	30日	土砂災害対応訓練	新町地区
	15日	幹部教育研修（初級）	東京都消防訓練所
	22日	特別教育（機関科）	東京都消防訓練所
7月	6～7日	幹部研修視察	栃木県足利市内 他
	28日	車両運行訓練	日本航空学園青梅キャンパス

月	日	行 事 内 容	実 施 場 所 等
8月	3日	青梅市納涼花火大会警戒	永山公園総合運動場 他
	7日	青梅市防災会議	市役所
9月	14日	救命ボート取扱い訓練	東原公園水泳場
	23日	西多摩地区消防団幹部研修	福生市民会館
10月	26日	第52回東京都消防操法大会	東京都消防訓練所
11月	3日	青梅産業観光まつり（消防PRコーナー設置）	市役所
	6～7日	東京都三多摩消防団連絡協議会団長研修会	新潟県湯沢市・渋川市
	9～15日	秋の火災予防運動	市内全域
	9日	専科教育（救助科）	東京都消防訓練所
	10日	非常招集訓練・山林火災訓練	市内全域・日本航空学園青梅キャンパス
	24日	青梅市総合防災訓練	市役所、梅郷地区
	30日	団署合同訓練	立正佼成会青梅錬成道場
12月	7～8日	幹部教育研修（指揮幹部）	東京都消防訓練所
	25～31日	歳末警戒	市内全域
	30日	歳末警戒分遣所巡視	市内各所
1月	1日	初詣特別警戒	市内各所
	12日	消防団出初式	永山公園総合運動場
	19日	防災講演会	市役所
	26日	上級救命講習	青梅消防署
2月	2日	幹部教育研修（上級）	東京都消防訓練所
	2日	東京都消防協会臨時総会	東京都消防訓練所
	8日	普通救命講習	青梅消防署
	16日	青梅マラソン大会特別警戒	市内各所
3月	1～7日	春の火災予防運動	市内全域
	2日	山林パトロール	市内各所
	23日	基本操法訓練	日本航空学園青梅キャンパス

カ 備品等の購入・配布状況

品 名	団本部	第1分団	第2分団	第3分団	第4分団	第5分団	第6分団	第7分団	第8分団	合計
消防ホース （単位：本）	—	10	12	8	12	10	9	9	8	78
防火服 （単位：着）	1	6	9	6	8	6	6	1	6	49
クーリングハーネス （熱中症対策装備） （単位：個）	5	27	14	22	32	17	20	22	10	169

3 災害対策経費

(1) 防災講演会

「防災とボランティア週間」に合わせて、1月19日に市役所において、防災講演会を開催した。

また、「防災とボランティア週間」期間中の1月15日から21日までの間、市役所にて日常備蓄等に関するパネル展示を実施した。

ア 演 題 「赤十字防災セミナー」

講 師 日本赤十字社東京都支部から2人

イ 参加者 133人

(2) 震災および風水害等の対策

ア 南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）

8月8日16時43分頃に宮崎県日向灘を震源とするマグニチュード7.1の地震の発生により、同日19時15分、気象庁が南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）を発表した。発表にともない第2号警戒体制をとり、ホームページや登録制メール等で情報発信を行った。

8月15日17時00分に南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）が解除となったため、体制を解除した。

イ 台風第10号

台風第10号接近に伴い、8月29日21時00分に土砂災害警戒情報が発表されたため、第2号警戒体制をとり、自主避難場所開設（市役所・市民センター等（順次））を行った。31日9時40分に土砂災害警戒情報が解除されたため、11時00分に自主避難場所を閉鎖、12時00分に体制を解除した。

8月29日から31日までの累計雨量市内最大288.5mm（アメダス青梅（新町））
時間最大雨量71.0mm（アメダス青梅（新町）29日・21時）

被害状況

種	別	件	数	種	別	件	数
床	下	浸	水	4	が	け	崩
倒	木	1	道	路	冠	水	8

ウ 災害対策用食料等の購入

(単位：箱)

施設名称	品 目				
	白 米 (50食入り)	わかめごはん (50食入り)	ビスケット (24食入り)	米粉クッキー (24食入り)	液体ミルク (24本入り)
文化交流センター	—	—	112	—	—
大門市民センター	73	35	136	2	—
第三小学校	—	—	52	2	—
第三中学校	—	—	52	2	—
吹上中学校	—	—	28	2	—
吹上小学校	—	—	28	2	—
東青梅市民センター	32	39	84	2	—
第四小学校	20	19	76	2	—
霞台中学校	—	—	32	2	—
青梅市役所	—	—	36	—	25
河辺市民センター	—	—	232	2	—
合 計	125	93	868	18	25

エ 福祉避難所開設用消耗品の購入

福祉避難所を開設する際に使用する消耗品として、肘掛け付きトイレと冷暖リバーシブル毛布を購入した。

オ 医療救護所用備品の購入

緊急医療救護所において、負傷者の受付およびトリアージを実施するためのエアータントを購入した。

カ 災害時等における応援協定等の締結について

名 称	締 結 日	締 結 先
災害時等における物流施設の提供に関する協定	11.27	野村不動産マスターファンド投資法人 鴻池運輸株式会社

キ 翌年度繰越事業（事故繰越）

(単位：千円)

事業名	支 出 負 担 行 為 額	6 年 度 支 払 額	翌 年 度 繰 越 額	計
医療救護所用品購入 (キャンバスベッド等)	174	0	174	174

(3) 青梅市防災会議

ア 青梅市防災会議委員

氏 名	選出区分	備 考	氏 名	選出区分	備 考
◎大勢待 利 明	市 長		中 村 洋 介	指定公共機関、 指定地方公共 機関および公 共的団体の役 員または職員	
道 津 友 弘	指定地方行政機関職員		土 田 大 介		
赤 木 優 介	自 衛 隊 員		百 瀬 澄 雄		
池 上 大	都 職 員		小 嶋 延 章		
渡 部 裕 之			宮 口 泉		
佐 藤 嘉 英			岩 浪 岳 史		
福 田 託 也	警 察 官	2.16退任	久 保 稔		
末 次 健 次		2.17就任	明 石 吉 永		
野 崎 孝 幸	消 防 吏 員		舘 盛 和		
濱 野 馨	消 防 団 長		金 子 典 由		
小 山 高 義	副 市 長		原 田 裕美子		
橋 本 雅 幸	教 育 長		小 林 弘 政		
林 部 晋 也	指定公共機関、 指定地方公共 機関および公 共的団体の役 員または職員		氏 江 正 二		
森 山 祐 二			小 花 紀 彦	自主防災組織代表者	
上 田 達		6.30退任	加 藤 めぐみ	学 識 経 験 者	
伊 藤 弘 造		7.1就任	大 友 建一郎	病院事業管理者	
富 川 泰 介		6.30退任	小 平 久美子	市 職 員	
児 玉 大 藏		7.1就任	中 村 幸 子		
松 永 重 徳			細 金 慎 一		
山 川 英 男			中 村 恵 美		8.7就任

◎は会長

イ 防災会議の開催

月 日	内 容
8.7	・ 青梅市防災基本条例の制定について ・ 青梅市地域防災計画の修正について ・ 令和6年度青梅市総合防災訓練について

(4) 総合防災訓練

11月24日午前9時から本庁舎および梅郷地区において、防災関係機関相互の連携強化および市民の防災意識の高揚と災害対応能力の強化を図るため、総合防災訓練を実施した。

(5) 自主防災組織等運営費交付金

ア 運営費交付金

自主防災組織の運営費として、12組織に対し合計1,728千円を交付した。

イ 防災士育成事業交付金

自主防災組織の強化および防災リーダーの育成を図るため、防災士の資格取得にかかる経費として、5組織に対し総額267,352円を交付した。

また、令和7年3月9日に地域の防災リーダーを育成することを目的とした防災リーダー講習会を実施した。

6年度は、前年度の講習会アンケート結果から、関心の高かった避難所運営をテーマとして実施した。

講習内容 グループワーク「ひなんじょたいけん」（避難所体験ゲーム）

講師 日本赤十字社東京都支部から3人

対象者 防災士資格認定者をはじめ、防災リーダーとして活躍される方

参加者 36人

(6) 市内危険箇所調査

5月28日に関係官庁および消防団による市内危険箇所の打ち合わせ会を開催し、各危険箇所に関する対応を協議した。

なお、市内危険箇所は、次のとおりである。

番号	所在地	危険の種類	危険の状態	備考
1	勝沼2-205-60ほか	石積倒壊	石積の倒壊の危険性がある。	一部土砂災害警戒区域 宅地造成等規制法にもとづく 規制区域
2	根ヶ布1-652-9	擁壁倒壊 土砂流出	擁壁の整備および土砂流出の予 防措置が不適格と思われる。	一部土砂災害警戒区域 宅地造成等規制法にもとづく 規制区域
3	根ヶ布2-1372-63	斜面崩壊	急傾斜地であるため、家屋へ危 険を及ぼす恐れがある。	一部土砂災害特別警戒区域 宅地造成等規制法にもとづく 規制区域
4	梅郷6-1535-4 付近	斜面崩壊	多摩川右岸の傾斜面が雑排水等 により一部崩壊しており、さら に崩壊する恐れがある。	土砂災害特別警戒区域
5	友田町1丁目地内	建物浸水	家屋が浸水する危険がある。	多摩川に係る浸水想定区域 洪水予報個別対応地区
6	今寺1-808-13 付近	建物浸水	大門川の溢水により床下浸水お よび道路・宅地が冠水した。	過去に被害が発生した箇所
7	今井3-4-24付近 ほか	建物浸水	大雨の際に道路冠水、床上・床 下浸水および工場浸水があつ た。	過去に被害が発生した箇所
8	柚木町1-194先	建物浸水	大雨により多摩川が増水した 際、民間保養施設への被害が想 定される。	地形等から危険が想定され る箇所
9	河辺町1-800付近	斜面崩壊	南斜面にオーバーハングが見ら れ崩壊の危険がある。崩落発生 の場合は、建物3棟に影響の恐れ がある。	土砂災害特別警戒区域 宅地造成等規制法にもとづく 規制区域 地形等から危険が想定さ れる箇所
10	畑中2-149-2付近	斜面崩壊	住家から4～5m離れたところが 垂直な崖となっており、大雨・ 地震等による崩落があると、人 的被害が考えられる。	土砂災害特別警戒区域 地形等から危険が想定さ れる箇所

番号	所在地	危険の種類	危険の状態	備考
11	長淵1-21-12付近	斜面崩壊	多摩川右岸の住宅下、傾斜面3箇所が一部崩落しており、さらに崩落する恐れがある。	土砂災害特別警戒区域 地形等から危険が想定される箇所
12	吹上132-1先	擁壁の倒壊 家屋の傾き	擁壁の倒壊の危険性および家屋の傾きがある。	宅地造成等規制法にもとづく 規制区域 地形等から危険が想定される箇所
13	二俣尾4-1194付近	斜面崩壊	住宅南側斜面が崩落しており、年々崩落が進んでいる。	土砂災害特別警戒区域 地形等から危険が想定される箇所
14	千ヶ瀬町1丁目地内	崖線崩落	多摩川崖線が小規模崩落している。	土砂災害特別警戒区域 地形等から危険が想定される箇所
15	根ヶ布1-652-17周辺	土砂崩れ	法面の保護がなされていないため、家屋へ危険を及ぼす恐れがある。	一部土砂災害特別警戒区域 過去に被害が発生した箇所
16	友田町2-639-7付近	土砂崩れ	法面の保護がなされていないため、家屋へ危険を及ぼす恐れがある。	土砂災害特別警戒区域 過去に被害が発生した箇所
17	日向和田3-495-10	地すべり	亀裂の拡大により、さらに崩落する恐れがある。	土砂災害特別警戒区域 過去に被害が発生した箇所
18	成木1丁目末成橋付近	建物浸水 道路冠水	成木川の溢水により床下浸水および道路・宅地が冠水した。	過去に被害が発生した箇所

(7) 土砂災害対応訓練

6月30日午前10時から本庁舎および新町地区において、関係機関相互の協力体制の緊密化および防災計画の習熟化を図り、市民の防災意識を高めることを目的として実施した。

(8) 家具転倒防止器具等支給取付事業

家具転倒防止器具等を支給し、取付けを行うことにより、震災時における人的被害の軽減を図ることを目的として実施した。

支給・取付世帯数

(単位：世帯)

該当要件	立川断層近傍および立川断層帯地震で震度6強以上が想定される地域内の世帯のみに該当	高齢者世帯のみに該当	障害者世帯のみに該当	複数の要件に該当	合計
世帯数	24	8	1	42	75

※ 立川断層近傍および立川断層帯地震で震度6強以上が想定される地域

駒木町2・3丁目、長淵1～5・8・9丁目、友田町、千ヶ瀬町1～3丁目、吹上、野上町、大門、塩船、谷野、木野下、今寺、畑中3丁目、和田町、富岡、小曾木1・2・4・5丁目、成木1・2丁目、東青梅、師岡町、新町、末広町、河辺町、藤橋、今井内の世帯（丁目表示のないものは、その町名区域内全域が対象）

(9) 青梅市民防災ハンドブックおよび青梅市民防災マップの作成と配布

災害の被害を最小限にとどめるため、日ごろの備えや災害時にとるべき行動等をまとめた「青梅市民防災ハンドブック」と、市内の土砂災害および水害等の危険箇所をまとめた「青梅市民防災マップ」を作成し、全戸に配布した。

従来は、1冊にまとめていたものを分冊化することにより、土砂災害警戒区域等の見直しに伴って変化が想定される「防災マップ」のみを更新することが可能となった。

(10) ブロック塀等撤去費補助金交付

道路に面したブロック塀等の撤去を行った12件に対し、総額1,223千円を交付した。

(11) 青梅市国民保護協議会

青梅市国民保護協議会委員

氏 名	選出区分	備 考	氏 名	選出区分	備 考
◎大勢待 利 明	市 長		富 川 泰 介	指定公共機関、 指定地方公共 機関の役員 または職員	6.30退任
赤 木 優 介	自 衛 隊 員		児 玉 大 藏		7.1就任
三 浦 和 広	都 職 員		中 村 洋 介		
渡 部 裕 之			松 永 重 徳	知識経験者	
佐 藤 嘉 英			土 田 大 介		
福 田 託 也	警 察 官	2.16退任	百 瀬 澄 雄		
末 次 健 次		2.17就任	小 嶋 延 章		
野 崎 孝 幸	消 防 吏 員		宮 口 泉		
濱 野 馨	消 防 団 長		岩 浪 岳 史		
小 山 高 義	副 市 長		久 保 稔		
橋 本 雅 幸	教 育 長		明 石 吉 永		
林 部 晋 也	指定公共機関、 指定地方公共 機関の役員 または職員		舘 盛 和		
森 山 祐 二			金 子 典 由		
上 田 達		6.30退任	原 田 裕美子		
伊 藤 弘 造		7.1就任	大 友 建一郎	市 職 員	
山 川 英 男			細 金 慎 一		

◎は会長

4 消防施設維持管理経費

(1) 消火栓の設置

新設および撤去はなく、移設工事のみを行った。

(2) 主な消防団器具置場修繕

(単位：千円)

器 具 置 場 名	内 容	金 額
第3分団第3部	シャッター	495
第5分団第1部	屋上等防水等	1,925
第5分団第3部	給水管等（埋戻し含む）	1,562
第7分団第1部	階段手摺など	167

5 防災行政無線維持管理経費

(1) 固定系

市内126箇所に設置している固定系受信所の機械・設備等の点検を目的として、1日1回（4月～9月は午後5時、10月～3月は午後4時）のチャイム放送を実施した。また、小学生の下校時に合わせ、小学生の見守り放送を行うとともに、臨時放送（火災の発生・鎮火など）を実施した。

(2) 移動系

災害時や防災訓練における情報の伝達・収集に活用した。

6 避難行動要支援者支援対策経費

青梅地区、長淵地区、河辺地区の個別避難計画を作成した。

(単位：件)

地 区	青 梅	長 淵	河 辺	合 計
作成数	1,019	1,552	1,379	3,950

7 消防施設整備経費

(1) 備品の購入・配布状況

品 名	区 分	配 布 先	数 量
背 負 い 式 散 水 装 置	更 新	第1分団第1部、ほか4部	5台

(2) 防火水槽撤去等工事

工 事 内 容	契 約 金 額	受 注 者	施 工 場 所	契 約 工 期
防火水槽（角形5m ³ 級） 撤去	1,298千円	東京機工土木㈱	駒木町3丁目地内	2.7～3.28

8 避難所施設整備経費

(1) 災害バルク等設備設置

大規模災害の停電時の電源確保策として、小中学校11校に、リースにより災害バルク等設備を設置した。

債務負担行為にもとづく賃貸借（令和6年度～令和11年度債務負担分）

（単位：千円）

事業名称	契約金額	6年度 支払額	年間支払額 7～10年度	年間支払額 11年度	受注者	契約期間
青 梅 市 立 小 中 学 校 災 害 バ ル ク 設 備 賃 貸 借	232,892	7,763	46,578	38,817	りそなり ース(株)	R7.2.1 ～ R12.1.31

(2) Wi-Fi 環境整備

屋内避難施設14箇所に Wi-Fi 環境の整備を行った。

施設名	
天ヶ瀬体育館	小曾木市民センター体育館
長淵市民センター体育館	成木市民センター体育館
大門市民センター体育館	東青梅市民センター体育館
梅郷市民センター体育館	新町市民センター体育館
沢井市民センター体育館	河辺市民センター体育館
沢井市民センター多目的室	総合体育館
御岳山ふれあいセンター	今井市民センター体育館

9 防災行政無線整備経費

固定系防災行政無線の機器老朽化のため、機器の更新等を行った。

10 急傾斜地崩壊防止事業経費

急傾斜地崩壊防止工事に当たり、東京都に対し、2地区の負担金を支払った。

（単位：千円）

名 称	金 額	市 負 担 率
友田町2丁目地区急傾斜地崩壊防止工事負担金	1,126	10%
長淵1丁目地区急傾斜地崩壊防止工事負担金	9,025	
合 計	10,151	

11 消防自動車購入経費

地域防災力の向上と団員の負担減少のため、小型動力ポンプ積載車8台、資機材搬送車1台を更新した。

種 類	配 備 先
小型動力ポンプ積載車	第1分団第5部、第2分団第4部、第3分団第2部、第4分団第2部、第5分団第3部、第6分団第1部、第7分団第4部、第8分団第3部
資機材搬送車	第5分団第4部

○ 防 災 支 援 費 (1 , 0 9 7 , 7 2 0 円) [地域福祉課]

避難行動要支援者支援対策経費

避難行動要支援者名簿の平常時からの名簿提供の意思確認と名簿の更新を行った。

区 分		登 録 者 数
避 難 行 動 要 支 援 者 名 簿	災 害 時	15,830人
	平 常 時	10,379人